

梅若研能会 十月公演

平成三十年十一月十五日(木)午後二時始(午後一時二十分開場)
於セルリアンタワー能楽堂

仕舞 松風 梅若 紀長

梅若 紀佳
梅若万佐晴
梅若万三郎
梅若 久紀

(二時五十分頃)

狂言 栗焼

シテ(太郎冠者) 三宅 近成
アド(主) 高澤 祐介

休憩十五分



「俊寛」梅若万三郎 撮影 前島写真店

能 俊寛

(二時四十五分頃)

シテ(俊寛) 中村 裕
ツレ(丹波少将成経) 中村 政裕
ツレ(平判官入道康頼) 古室 知也
ワキ(赦免使) 安田 登
アイ(船頭) 三宅 近成
笛 藤田朝太郎
小鼓 幸 信吾
大鼓 柿原 弘和

後見 加藤 眞悟 梅若 泰志
根岸 晃一 長谷川晴彦
青木 健一 伊藤 嘉章
梅若 久紀 青木 一郎
遠田 修 八田 達弥

地謡

(終演予定 三時五十五分)

狂言 栗焼(くりやき)

丹波の伯父から四十個の栗をもらった主(アド)。その意味を「しじゅう(始終)末代まで仲良く」と判じた太郎冠者(シテ)に、機嫌をよくした主は焼栗にしてお客に振舞うことにする。栗焼きを命じられた太郎冠者が味見に食べてみると、その旨さに手が止まらず全部食べてしまい……。

能 俊寛(しゅんかん)

平家討伐の陰謀が露見して鬼界ヶ島に流された俊寛(シテ)、成経(ツレ)、康頼(ツレ)の三人。この地に勧請した熊野三社を排した靈験のためか、清盛の娘・建礼門院の安産祈願の恩赦が下され、赦免使(ワキ)が到着する。赦免状に俊寛の名のみ記されていないので、筆者の誤りと疑う俊寛に、使者は俊寛のみ島に残せ、と命令を受けたことを伝える。三人を分けた運命は悲愴な別離となり、取りすがる俊寛を島に残し、船は沖へと姿を消すのだった。

能「俊寛」みどころ講座

十一月三日(土・祝)十一時〜十二時半
於・梅若万三郎家能舞台(渋谷区西原一・四一)

受講料 一〇〇〇円(※研能会入場券購入者は無料)
能俊寛の内容について演者の中村裕が、解説致します。

講師 中村 裕(なかもら ひろし)

昭和二十二年群馬県館林市生まれ、昭和三十六年梅若万三郎家に入門。公益財団法人梅若研能会理事、日本能楽会会員(重要無形文化財総合指定保持者、観世流準職分。昭和四十六年「経正」にて初シテ以降、中央区など都内各地及び近郊、足利市、新潟市などで能の普及に努めている。

お申込み 梅若研能会事務局
☎〇三三三六六六三〇四一(平日15〜17時)

入場料 指定席A 6,500円 指定席B 5,500円
※学生席 各席2,500円引き(要学生証)

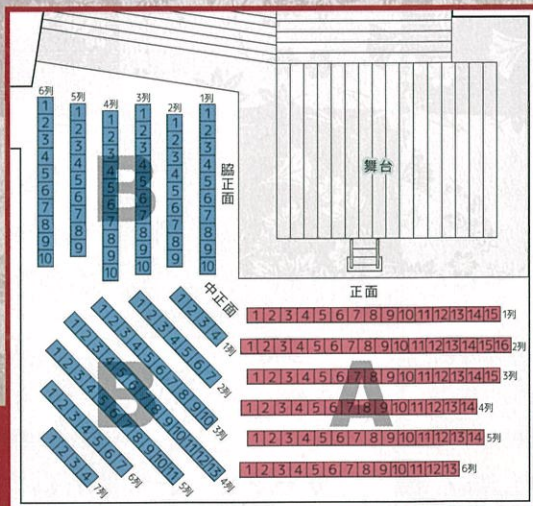
お申込 公益財団法人 梅若研能会事務局 TEL 03(3466)3041

PC・スマホで簡単お申し込み!

カンフェティ
TEL 0120(240)540 (平日10-18時)
http://www.confetti-web.com/umeken



e+ (イープラス)
https://eplus.jp/ath/word/69495



セルリアンタワー能楽堂座席表

次回予告 12月20日(木) 2時始 於 観世能楽堂

仕舞「経正キリ」八田 達弥 / 仕舞「花筐狂」伊藤 嘉章 / 舞囃子「融」シテ 梅若 万三郎 / 狂言「雁大名」シテ 野村 萬斎 / 能「葛城大和舞」シテ 加藤 眞吾